

目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	(日常的な外出支援)利用者が高齢になったり車椅子の方が大半を占めるようになり、外出が困難になっている。外出することでリフレッシュできるようにしたいが中々できない現状がある。	①花見、外食、近隣への散歩、ご利用者様の馴染みの場所への外出を計画して行いたい。 ②ご家族様や地域住民協力をいただきながら外出したい。	①季節を感じて生活が出来る様、定期的に計画して外出を行う。(回転寿司ツアーを予定している) ②地区の行事がある際は、事前に地域の方々にお知らせし地域住民の協力のもと外出していきたい。	12ヶ月
2	2	(事業所と地域の付き合い)利用者が地域と繋がりながら生活できているか。職員が地区の行事に参加したり、地域主催の行事に利用者と共に参加することはあっても、利用者様の生活してきた地域との関係は途切れてしまっている。	①事業所の職員は地区の行事があれば積極的に参加する。 ②ご利用者様の入居前の地域との関係を途切れぬようにしたい。	①地域で行われる行事には職員は積極的に参加する。(防災訓練、認知症研修等) ②ご利用者様の入居前の生活の中で地域との接点があった方についてはその地域の活動に参加させて頂き、地域との関係を維持したい。	12ヶ月
3	11	(運営に関する職員意見の反映)月に一度職員全体会で業務連絡、伝達研修、利用者の現状報告、カンファレンスなどを行い職員からの意見は積極的に取り入れて運営に反映させているが、職員一人ひとりの目標設定が無い。	①職員全体会、朝のミーティング時には積極的な意見交換を行い、運営に活かします。 ②職員一人ひとりの個別の目標設定を行い働き甲斐のある職場作りを目指します。	①ミーティングや職員会議の際は今以上に自分の考えが発信できるような雰囲気作りをします。 ②年度の初めに職員一人ひとりの目標設定を行い、年度末にはどの程度達成できたか、管理者、主任との話し合いを行います。	12ヶ月
4	10	(運営に関する利用者家族意見の反映)頻回身面会にお見えになるご家族様からはご意見やご要望をお聞きすることがあるが、面会が少ないご家族様からのご意見やご要望をお聞きすることが少ない。	①ご利用者様の要望や希望は日頃の訴えや希望をくみ取り対応していきたい。 ②面会回数が少ないご家族様とのコミュニケーションを取り機会を設け、意向をお聞きしたい。	①言葉を発することが困難なご利用者様においてはアイコンタクトや表情により意向の確認を行う。 ②年に2回程度グループホーム便りなどを発行し、ご利用者様の生活を見て頂く機会を設ける。外出や誕生日などの行事にご家族を招待します。	12ヶ月
5	52	(意心地の良い空間づくり)椅子、机、ベッド等の馴染みの少ない生活様式であり、畳やこたつといった昔からの居住空間でないため、新しいご利用者様が落ち着かない姿が垣間見られる。	気の合うご利用者様がゆっくりくつろげる空間作りをしたい。	居室は個人の馴染みの物を飾ったり、共有空間においてはくつろげるスペースを工夫したい。(季節によってはこたつなど利用できるようにする)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。